

活動名 障がい者スポーツ教室	団体名	障害児(者)サポートクラブ翔
	地域	山口県周南市
	代表者	代表 岡崎 重正
	支援金額	25万円
活動概要		
<p>重度の知的障がい・発達障がいのある子どもたちがスポーツを楽しめるための環境づくりが必要と考え、定期的にスポーツを楽しむ、また、先住の地域の方々と障がい者スポーツの交流の場をもつことで、彼らの社会参加への道の礎となると確信しています。</p> <p>◆実施時期 毎月第2、第4日曜日 PM 1:30～ 周南市立長穂小学校体育館、運動場(休校中)</p> <p>◆参加人数 児(者) 10人×2回/月×12=240人 保護者 6人×2回/月×12=144人 ボランティア 3人×2回/月×12=72人 スタッフ 5人×2回/月×12=120人</p> <p>イベント マウンテンマウス 60人 よさこい 20人 ヨット教室 15人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:671名</p>		



よさこい



超多動のコミュニケーションが座って観ていることがスバラシイ！！



ちよるる体操



ヨット教室

◆実施に伴う効果

- ・ マウンテンマウスライブ
近隣の須々万中学校より多くの生徒が駆けつけてくれた。障がいのある彼らと一緒に踊っていただき、その光景を見て感動し涙する保護者がいた。障がいのある彼らが社会参加するとき健常者の理解がとても大事になる。
- ・ ヨット教室
体験したことのないヨットに乗り、子どもたちの笑顔、その笑顔を見て保護者も喜ぶ。
- ・ グラウンドゴルフ大会
きららドームで長穂地域のおじいちゃんおばあちゃんと一緒にドーム内でゴルフ？喜んだのは、おじいちゃんおばあちゃん達でした。
- ・ よさこい体験
山口県立大学生の指導で、思いっきり体を動かし、全員満足。

◆苦労した点

私どもは、障がいのある者たちが集まる集団ではない。障がいのある者たちが社会参加するには、健常者の理解が絶対必要である。それには、常に活動の中で健常者との交流が必要である。しかし、普通学校の小中学校へ申し入れても、なかなか理解されていないのが現状。また、行政からの支援が全くないのがとても残念である。

彼らを支援するには、労力も時間もかかります。再三行政に申し入れしても返ってくる言葉は「予算が無い！」山口県内で最も遅れている行政の対応で、保護者も無関心になっている。この事態は何としても解消しなくてはならない。

◆今後の課題・発展の方向性

前述したように、行政の支援のない中、当会は障がいのある子どもたちがスポーツを楽しめる環境を作って、彼らが好きな時、好きな競技が好きだけできるようにしたい。スポーツにはルールがある。社会にもルールがある。スポーツを通して彼らが社会参加へ向けて活動することを、我々は精一杯支援していかなければならない。

H24年度は、競技別にクラブ化していきたい。

近隣地域の小・中学生と一緒に活動したいため、広報活動を活発にする。

◆活動を終えての感想・意見等

新しい体験をして、子どもの笑顔が最高である！！

障がいがある中で、親が社会に遠慮しているのか、怖がっているのか、諦めているのか。

子どもたちは精一杯チャレンジしている。その結果で出た「笑顔」「最高である」「こんな表情見たことない」彼らに夢を持てる時間でした。